

お元気ですか!先輩



元信達地区委員
河地都志子さん

皆さん、お変わりなくご活躍のことと思います。コロナ禍でいろいろ制限がある中、活動しづらい点が多々あることと察します。早く終息する日が来るよう願うばかりです。

退任して4年が過ぎました。在任中は、広報部に所属しました。その広報紙にも変遷が…発行・年1回→2回、紙面・白黒→カラーになりました。

編集会議や研修会で、委員の方々と楽しい時間を持てたのは、懐かしく、いい思い出になりました。

今まで知り得なかったことを、たくさん勉強させていただきました。結果、老齢化が進む今、相談を受ければ包括支援センター等を紹介し、陰ながら見守りをしています。

現在は、児童の登校指導と青色防犯パトロールに微力ながら参加しています。

学んだ知識、体験したこと、多くの方々と知り合えたことは私の宝です。体を自愛し、憎きコロナの撲滅に向けて!!

広報部会

活動に大いに役立つデジタル化



リモートによる虐待などの研修会

コロナ禍において民生委員児童委員の多くは、活動が思うようにはできなくなりました。指示が伝わらなくなりました。国の方針はデジタル化を進めることです。民生活動でも早急に検討する時期がきています。各委員がタブレット・PCやスマホで活動するのが、

現在知るかぎりでは、広報部会や西信達地区ではほとんどの委員はLINEで連絡の取り合いをしていますが、部長、アドバイザー、部会員から相互に連絡して



荒子 英範

何年前かに九州の佐賀市で導入された記事を読んだのですが、少しずつやっていますが、少ずつやっているとできるものになります。講習会を何回か受けることと利用できるようにしよう。各委員が資料の管理で苦労していますが、データ化して保存すれば管理は容易になるでしょう。紙資料をできるだけなくすることに努めます。

災害時には見守りなどの活動に大いに役に立ち、委員間の情報のやり取りが瞬時にできます。これらの導入はこれからの民生委員児童委員の活動に欠かせないツールになることではないでしょうか。

力して、一人でも虐待から守り、その輪を広げていくことが重要な役割です。

久具 サチ子

主任児童委員

リモート研修

3月19日に大阪府立大学伊藤嘉余子教授の「児童虐待防止と児童委員主任児童委員のあり方」と言うテーマのリモート研修を受講しました。

「虐待はしつけの延長ではない。18歳以下の子どもを持つ親の約60%がしつけ

としての体罰を容認。口で言うだけでは理解しない、が圧倒的な%を占めている」そこで、体罰を加える親の過半数以上が自分自身も体罰を受けて育っているそうです。

体罰を受け育った子は非行に走り易い、と言うテーマもあるとのこと。虐待(疑いでも)を見つけたら、児童委員主任児童委員は協

令和3年1月1日時点で要支援対象者は7,232名で内同意者3,618名です(施設や病院に入所、入院している方や子ども同居している世帯の高齢者は含まれていません)。社会福祉協議会統轄のひとり暮らし高齢者については、下記別表を参照してください。

大規模な災害が発生した災害時に備え、住民の皆さんが地域ごとに団結し、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という自発的な意思に基づき結成された組織です。



防災訓練による応急手当訓練

応急手当訓練

場合、行政を始め各防災機関は、全力を挙げて防災活動を行います。通信網の不調、交通障害の発生など、悪条件が重なるとその力は分散を余儀なくされ、被災地での救助活動を十分できないことも考えられます。

このような事態に直面した場合、消火活動、救出救助活動、避難誘導活動を行うのは、被災地域の皆さん自身になります。現在、泉南市の自主防災組織は22団体あり、組織率は62.2%となつています(組織率は自主防災組織を結成してい



保存食の配布

る地域の世帯数を市内の全世帯で除した割合です)。自主防災組織の平時時の活動は、地元地域において防災訓練を実施したり、泉南市とイオングループとの合同訓練に参加したり、府内において行う自主防災組織リーダー育成研修に参加したりといった活動を行っています。



泉南市総合防災マップに自然災害についてロゴマークの備えが詳しく記載されています。ハザードマップもご確認ください。



AEDを使った訓練

一時避難地を、班ごとに集合し人数確認の訓練

子どもたちも参加

指定避難所をめぐり避難訓練

泉南市ひとり暮らし高齢者 年齢・地区別表 単位:人 令和2年12月末現在

地区名	62才~	70才~	75才~	80才~	85才~	90才~	95才~	合計
新家地区	17 (14)	46 (32)	83 (64)	70 (58)	37 (27)	8 (6)	3 (3)	264 (204)
信達地区	0 (0)	31 (26)	30 (25)	41 (32)	25 (16)	4 (3)	0 (0)	131 (102)
砂川地区	8 (6)	25 (17)	41 (34)	48 (35)	24 (18)	4 (4)	1 (1)	151 (115)
一丘地区	4 (2)	10 (6)	35 (25)	32 (25)	18 (10)	5 (4)	0 (0)	104 (72)
雄信達地区	13 (10)	40 (27)	35 (23)	54 (46)	24 (20)	9 (7)	1 (1)	176 (134)
樽井地区	2 (2)	22 (20)	39 (34)	38 (29)	39 (33)	13 (12)	0 (0)	153 (130)
鳴滝地区	4 (4)	24 (18)	69 (61)	54 (40)	33 (27)	12 (12)	0 (0)	196 (162)
西信達地区	4 (1)	30 (23)	38 (35)	34 (25)	21 (17)	7 (5)	0 (0)	134 (106)
合計	52 (39)	228 (169)	370 (301)	371 (290)	221 (168)	62 (53)	5 (5)	1,309 (1,025)

社会福祉協議会統轄の「ひとり暮らし高齢者カード」に基づく ()内は女性

部会だより

地域福祉部会 自分にあつた活動を

昨年7月から市民の皆さんが医療機関を利用する際に参考にしていたく医療施設の一覧表とマップの作成をテーマに掲げ活動してきました。コロナ禍で、今年3月まで4回の会合の98施設を一覧表にすることができました。あとはマップをどのようにしていくかメンバーで考え完成をめざします。

委員としてまだまだですが、研修、訪問見学などを通じ、一人前の委員になれるようしっかりと学んでいきたいと思っています。

また、会社勤めの私ですが、悩みの情報を提供し、他委員、関係機関との協力を得て相談ごとのマニュアルを作成し、寄せられた問題に支援できるように、自分にあつた活動をしていきたいと考えています。

籠谷 建一

子育て支援部会 コロナ禍のクリスマス会

コロナ禍の令和2年度は、中止や縮小により子育て支援部会の活動がままならない状態で1年が過ぎました。そのような中、子育て支援部会の民生委員児童委員として参加をしている子育てサロン「しんげっこ」では、地区福祉委員と協力して密を避け3回に分けてクリスマス会を実施する方向で、いろいろと計画を立てていました。



棒で渡すクリスマスプレゼント

しかし感染状況の悪化に伴いクリスマス会はサンタさんによるプレゼントと記念撮影のみの開催となりました。

集会所の玄関先でサンタさんとソーシャルディスタンスを保つため、棒の先にプレゼントを引っ掛けて渡したところ、その様子が面白いと子ども達やお母さんに喜んでもらえました。

今、あたりまえの日常が過ごせない中ですが、これからも気軽に声をかけてもらえる民生委員児童委員として地域の子育てのお手伝いをしていきたいと思っています。

文庫 初代

企画部会 コロナ禍にあつても

活動の継続

企画部の主な活動は、年次総会の企画と準備・記念品の選定と、現地に赴いて広い知識の修得を目的とした管外研修先の候補を選定することです。

民生委員児童委員としての地域の活動に生かせるような企画にしたいと考えて論議しています。しかし、

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、企画部の活動は大きく制約されています。

令和2年はご承知のように総会が書面総会になり管外研修も記念品も無くなりました。今年も残念ながら昨年と同様に書面総会と全員参加の管外研修もありませんでしたが、総会の記念品は配られることになりました。

コロナ禍にあつても社会福祉協議会をはじめ地域の様々の方々と連携し、常に民生委員児童委員とのつながりが強固になるよう、企画部会として活動をしてまいります。

牧野 彰一

児童福祉部会 児童への取り組み

令和2年度コロナ禍の中、私たち児童福祉部会は限られた活動しかできませんでしたが、年間の活動計画も作れません。コロナ禍に合わせて活動しました。

2月と6月に会議を開き、9月と10月に各地区の小学校中学校を訪問して、日ごろの授業の様子やいじ



児童福祉部会のみなさん

め不登校がないか学校生活の様子を伺い、その日の会議で問題点について話し合いました。

11月には泉南市における教育の現状と問題点について勉強会を開きました。新しい年は、緊急事態宣言の中始まりました。

子どもたちの日常生活はどのように変わっているか、そんな中でも子どもたちは頑張っていることでしょう。

令和3年度が始まりました。コロナ禍の中、私たち民生委員児童委員は活動を通して、子どもたちにどのように手を差し伸べていくか考えさせられる日々です。

新堅 功一

新型コロナウイルス禍に入り総会が2期連続して中止

書面による総会となり上山会長・古谷・橋野副会長のいっば



会長 上山 忠

制約される活動

泉南市民生委員児童委員協議会の広報紙「せんなん」の第46号発行に伴い委員各位に一言ご挨拶申し上げます。

新任委員の方が就任して一年半が経とうとしていますが、昨年度は「新型コロナウイルス発生」、今年度は「ウイルスの変異株発生」で、総会も書面による総会となりました。

人と人がお互いに距離をとって接触する機会を減らし「新しい生活様式」にあわせた日常生活を余儀なくされ、緊急事態宣言の発令などにより、民生委員児童委員としての活動が大幅に

制約される中、感染拡大防止に留意しながら、地域のなかで頑張っておられることと思います。

まずは自分自身の健康に留意しながら無理せずに「感染しない」を目標でいきたいと思います。



副会長 古谷 克代

社会が一変

新型コロナウイルスの感染拡大により、集合、接触頻度が高いイベントの開催が難しくなってきました。

私たち民生委員児童委員の年齢構成が高く、基礎疾患のある方もおられ、新型

コロナウイルスに感染した場合重症化リスクが高いと思います。このリスクと使命感の間で「何とかしたい」でも思うように活動ができないという無力感を感じ悩んでおられる方もいらっしゃると思います。

令和2年度、令和3年度2年続いて、総会の開催ができなくなりました。未知のウイルス(災害ですよね)に翻弄されています。

私はウォーキングの時間を変えています。田んぼで作業、家の庭の草引き、自転車を買物、ウォーキング、道で雑談それぞれの様子子がわかります。

また洗濯物が干してある、取入れてある、電灯がついているかどうか、直接お話が出来なくても見守れるように心がけています。

委員の皆さんには、コロナ禍の不安が襲う中、お変わりなくお過ごしのことと推察いたします。

さて、4月25日3度目の緊急事態宣言が発令され、泉南市民生委員児童委員協議会総会は2年連続中止を余儀なくされました。

委嘱状伝達式より、全委員が会することがゆるさず一年半の月日が経過して



副会長 橋野 節子

地域の支え合い

最後に、難事の中総会開催に準備を進めていただいた企画部の皆さんや広報紙発行にご尽力いただいた広報部の皆さんに感謝いたします。

また、新型コロナウイルスのワクチン接種が7月中旬には高齢者全員が受けられるとのこと、心待ちにしております。



地区だより

信達地区

梅

3月に入り、梅の花が見頃になりました。信達地区、金熊寺の梅林でも花見客が以前程の賑わいではありませんが、散策に来ています。昔は金熊寺だけではなく東地区の畑では必ず梅の木があり、花が咲き甘酸っぱい香りがしていました。花を楽しむだけでなく、実を収穫して、梅干しを作る目的でもあります。

昭和の頃には、関東方面にも出荷されていたようですが、東京で見たと聞いたことがありません。その梅畑も金熊寺に限らず、外の地域でも管理が行き届かず、荒地が増えています。地元は高齢化が進み、農家の担い手がいなくなつて将来の展望がなく、お手上げの状況です。

樽井地区

谷口 忍

コロナ禍での活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため活動ができ



樽井地区会議中の皆さん

ていないのが現実です。緊急事態宣言の下、定例会も余り開けていません。色々な行事もなくなり寂しい限りです。私なりに模索し、電話での様子伺いを実施しています。高齢者の方々は気をつけて外出も控えているため、社会との交流がなくて不安との声も聞かれます。一人が不安だからと、家族の方の所に行かれ方もいらつしやいます。自粛生活で高齢者の方の鬱や認知症も増えるのではと危惧しています。

我が地区は、当初は地区活動費で研修会を行うものと考えていました。また現役世代が4人という状況では、全員参加の研修会は無理と見え、実施しない方針でした。しかし研修会経費は別途支給されると知り、早速3月28日に定例会委員と併せて実施することにしました。

行き先は和泉市環境リサイクル公園です。ここは大栄環境という会社が建設残土などで造成した公園で、設置してあるベンチやテーブルなどは廃棄物からの再生品です。四季折々の花が楽しめる広大な花園や梅林、グラウンドなどもあり、知られざる憩いの場となつていますが、他県から訪れる人もいて日曜などは結構な人出です。

当日はあいにくの雨でしたが元氣一杯の男4人は決行しました。一丘から往復約50kmという近距離です。皆さんも一度行ってみたいかどうかでしょう。

一丘地区

藤澤 和美

研修会

砂川地区 DVD鑑賞



研修先和泉市環境リサイクル公園

砂川地区

委員長 滝川 和雄

昨年の初春ごろからの新型コロナウイルスによる感染症が一向に治まる気配も無く、各地区とも諸行事が中止となり、わが地区も各地区に劣らず活動などがままならず悶々とした日々が続いております。

昨年34名であった信達地区が、信達・砂川・一丘の3つの地区に別れ、砂川地区は現在地区委員長以下の9名で活動をしています。依然として新型コロナウイルスが蔓延しており、動きが取れないことから社会福祉協議会が管理しているDVDを借り受けて、定例会を終えた後で鑑賞しました。その内容は、ひとり暮らし高齢者の見守りについてであり、民生委員児童委員だけを対象にしたものではなく、福祉活動をしている方を対象に作成されたものです。見終わった後、各委員から昨今叫ばれている個人情報についてどこまで関わって良いのか、その活動の難しさなどの意見が出るなど大変有意義な時間でした。

西信達地区

柴田 耕助

LINEでほつれん・そう

就任後に関ければ良いと思つていたがコロナ禍の影響で定例会議などが開催できない状態となり、地区委員長より報告・連絡・相談(ほつれん・そう)の補助アイテムとしてLINEを利用してはどうか?との意見があり各委員の賛同を

得てグループラインを作成することになりました。しかし、私はガラケーでしたので、早速スマートフォンに変更しました。LINEアプリケーションを苦労の上、インストールし、令和2年4月に委員長からグループ招待され、ライングループに参加しました。



グループラインで

鳴滝地区

ふれあい弁当

真鍋 秀一

季節はいつものように移り変わり、花の便りが届く頃になりました。

コロナ禍はまだ収束することなく、ひとときも気を許すことができない日々が続いています。友愛訪問



ふれあい弁当後の体操

やふれあい弁当が(3月9日、11日)ありました。訪問で、希望日や様子を聞いたりしましたがやはり少し体調を崩されている方もおられ心配です。これから日々の見守りを続けていきたいと思えます。

例年は「ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝」で、会食や映画会を楽しんでいます。が、去年からコロナの流行



高松 京子

でお弁当になり少し寂しくなりましたが、「お弁当美味しかった」との声も聞かれ本当によかったのだ。1日も早くコロナ禍が収束し、いつもの日常に戻ることを願います。

雄信達地区

仲間と共に歩む

好天に恵まれた、11月4日、毎年恒例となつている委員相互の親睦を兼ねた管外研修。昨年は新型コロナウイルスの影響を受け、泉南市民児協全体管外研修が中止となり、各地区ごとで行つこととなった。

委員長の立案で、いざ京都宇治方面へGO!



京都宇治の研修会

まずは「源氏物語ミュージアム」日本文字の不朽の名作、光源氏や宇治十帖の世界がわかりやすく紹介されていた。

そして午後から1052年藤原頼道により建立された「平等院鳳凰堂」へ。屋根の上の鳳凰や阿弥陀如来

新家地区

防災について理解を深める

橋野 節子

3月27日、地区委員会は泉南市危機管理課の担当者を招き研修会を開催、①災害への備え②避難行動要支援者名簿について話を聴きました。



危機管理課による防災研修会

避難行動要支援者名簿は、災害発生時に避難が難しい高齢者や障がいのある人などを支援するために作られ、地域での助け合いの仕組みづくりに活用されます。令和2年時点の名簿登録者は3618人で、名簿は協定を締結した10の区・自治会に交付されています。

今後の課題は個別計画書の作成です。避難支援団体が一人ひとりの状況に合わせた計画書を作成し、避難行動に活用されることとなります。

奥田 浩一

今回の研修会では名簿の作成手続から、自助・共助・公助の連携イメージまで詳細に説明して頂き、理解することができました。

民生委員児童委員は、日頃から住民の相談・支援活動に関わっているため、質問や意見も多く有意義なものになりました。